

## 製品名: カルビンジンウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe86508

研究使用のみ

### 概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

### 応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:30 kDa; Observed MW:30 kDa

### 抗原情報

遺伝子名	Calbindin
別名	CALB; D-28K
遺伝子 ID	793
SwissProt ID	P05937
免疫原	ヒトカルビンジンの合成ペプチド

### 背景

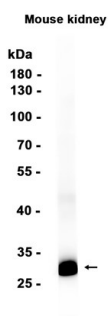
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、カルモジュリンやトロポニン C を含むカルシウム結合タンパク質スーパーファミ

リーの一員です。当初は27kDaのタンパク質として記載されていましたが、現在では28kDaのタンパク質であることが知られています。4つの活性カルシウム結合ドメインと、カルシウム結合能を失ったと考えられる2つの修飾ドメインを有しています。このタンパク質は、グルタミン酸受容体への刺激を受けた際のカルシウムの流入を緩衝すると考えられています。ハンチントン病患者において、このタンパク質の枯渇が認められています。[RefSeq 提供、2015年1月]

## 研究分野

-

## 画像データ



カルビンジンウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用してマウス腎臓組織抽出物のウエスタンブロット分析を行いました。